

General Population Census of Cambodia 1998 3) 檜尾昌秀 (1998) 東南アジアの森, ゼスト 4) McDonald, J.A. *et al.* (1997) : Plant Communities of the Tonle Sap Floodplain, Report for Man and Biosphere Program, UNESCO 5) Fraser T. *et al.* (2000) Cambodian Forest Concession Review Report, Sustainable Forest Management Project, Asian Development Bank 6) Ministry of Commerce (2000) <http://www.moc.gov.kh> 7) ARD, Inc. (1998) Technical Paper No 3, Forest Policy Reform Project, World Bank 8) Ung S.A. *et al.* (1999) National Assessment of Cambodia's Forest Rehabilitation Policy and Practice, Workshop on the Rehabilitation of Degraded Forest Ecosystem in the Lower Mekong Basin, Department of Forestry and Wildlife

## 図書紹介

◎東アフリカ農民による植林のパターンの社会経済分析 (Katherine Warner, 1993, Patterns of Farmer Tree Growing in Eastern Africa: A Socioeconomic Analysis, Tropical Forestry Papers 27, Oxford Forestry Institute/International Centre for Research in Agroforestry. pp. 270)

本書は東アフリカにおける農民の植林行動に影響を与える社会経済的な要因を明らかにしようとしたものである。その要因として取り上げられているのは、所有権の問題、農作物と家畜、市場の有無、文化的背景から、政府による介入などが含まれている。地域的な構成は、東アフリカ全域について述べたあと、国別の分析として、ケニア、タンザニアなど、比較的データの多い国に加えて、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、マラウイ、ザンビア、ジンバブエなど、日本ではあまり資料を目にしなない国々も含まれ、各国の記述の中でさらに気候帯などによる地域区分がなされている。

A4版の本であるが、巻末の文献リストは27ページもあり、膨大な量のデータを駆使した労作である。しかし逆に言えば、あまりに地域が広く、また取り上げている社会経済的な要因も多岐にわたるために、全体としての分析の結論がよくわからない、まとまりに欠けるものとなっているように思う。

本書の利用法としては、東アフリカ各国での社会経済的要因として、どのようなものが取り上げられているかを把握するためと、膨大な文献リストを入口として、日本では把握が難しいアフリカの社会林業・林業普及に関する文献調査をするための一助とすることであろう。 (野田直人)